

平成 24 年度秦野市 Web アンケート調査
(第 1 回目)
報告書

平成 24 年 6 月

秦野市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の設計及び回収結果	3
3 アンケートの調査項目	3
4 調査結果をみる上での注意事項	3
II 調査結果（第1回目）	5
1 属性	6
（1）性別	6
（2）年齢	6
（3）居住地区	6
2 市営日帰入浴施設「鶴巻温泉弘法の里湯」について	7
（1）弘法の里湯のリニューアル後の利用状況	7
（2）弘法の里湯を利用していない理由	8
（3）弘法の里湯の利用後の感想	9
3 新源泉「つるまき千の湯」について	10
（1）新源泉「つるまき千の湯」の魅力	10
（2）新源泉「つるまき千の湯」の活用方法	11
（3）温泉地として魅力向上の取組み	12
4 渋沢での新源泉活用について	13
（1）渋沢駅周辺での新源泉の活用	13
（2）渋沢駅周辺の日帰り温泉施設の利用意向	14
5 住宅用火災警報器について	15
（1）住宅用火災警報器設置状況	15
（2）住宅用火災警報器を設置していない理由	16

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施する。

2 調査の設計及び回収結果

本調査の実施方法は以下のとおりである。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のネット調査会社の登録者
③ 対象者数	400人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のネット調査会社の登録者約 2800人
⑤ 抽出方法	全数
⑥ 調査方法	ネット調査（楽天リサーチ株式会社）
⑦ 調査期間	平成 24 年 6 月 22 日～6 月 26 日
⑧ 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

3 アンケートの調査項目

秦野市の観光、住宅用火災警報器について調査項目を設定した。

4 調査結果をみる上での注意事項

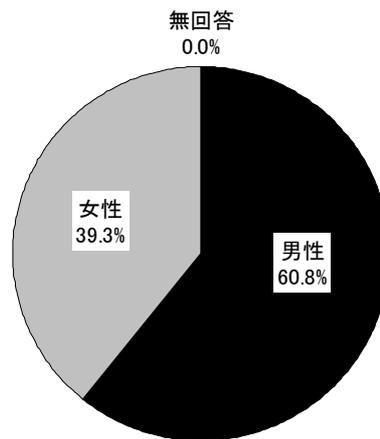
- ① 回答はn（有効回収数）を基準とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。
このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
- ③ 属性については、属性集計部分では「60～64歳」、「65～74歳」、「75歳以上」で区分しているが、サンプル数が少ないため、クロス集計においては「60代以上」と区分している。

Ⅱ 調査結果（第1回目）

1 属性

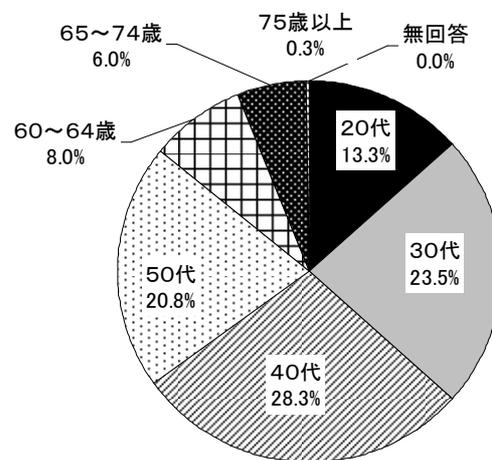
(1) 性別

n=400



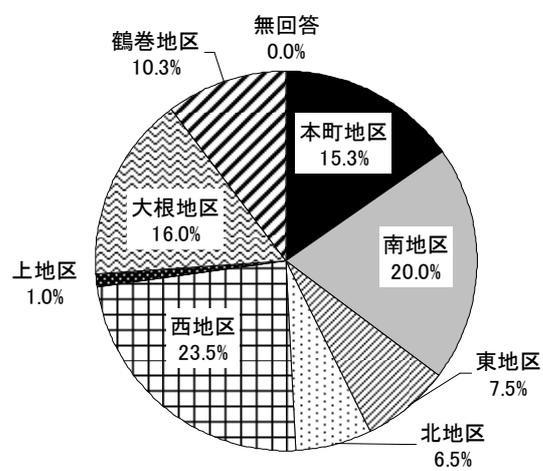
(2) 年齢

n=400



(3) 居住地区

n=400

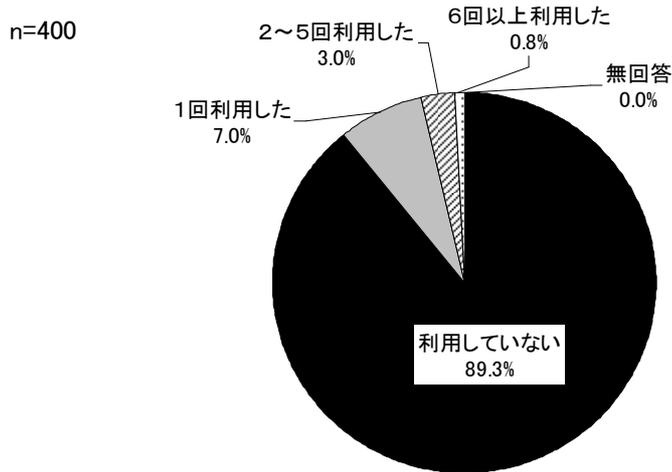


2 市営日帰入浴施設「鶴巻温泉弘法の里湯」について

(1) 弘法の里湯のリニューアル後の利用状況

昨年11月にリニューアルオープン以後の弘法の里湯の利用状況については、「利用していない」が89.3%と最も高く全体の約9割で、次いで「1回利用した」(7.0%)、「2～5回利用した」(3.0%)の順となっている。リピート率は全体の3.8%となっている。

□ Q1 弘法の里湯は、昨年11月にリニューアルオープンし、市が新たに確保した源泉「つまき千の湯」を引き込みました。あなたは、リニューアル以降に弘法の里湯を利用されましたか。[SA]



性別では、大きな差は見られない。

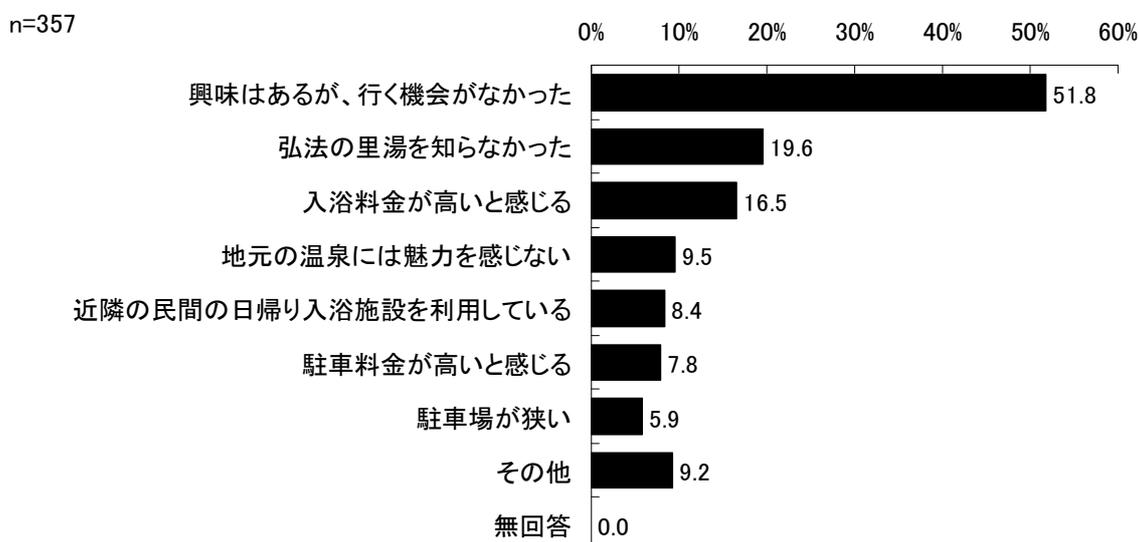
年代別に見ると、「利用していない」が20代(83.0%)で若干、他の年代より低くなっている。また、20代のリピート率(11.3%)('2～5回利用した'で9.4%、「6回以上利用した」で1.9%)は他の年代より高くなっている。

		弘法の里湯のリニューアル後の利用状況					
		全体 (実数)	利用して いない	1回利用し た	2～5回利 用した	6回以上 利用した	無回答
全体		400	89.3	7.0	3.0	0.8	0.0
性別	男性	243	89.3	6.6	3.3	0.8	0.0
	女性	157	89.2	7.6	2.5	0.6	0.0
年代	20代	53	83.0	5.7	9.4	1.9	0.0
	30代	94	89.4	7.4	2.1	1.1	0.0
	40代	113	91.2	6.2	2.7	0.0	0.0
	50代	83	91.6	6.0	1.2	1.2	0.0
	60代以上	57	87.7	10.5	1.8	0.0	0.0
	男性計	243	89.3	6.6	3.3	0.8	0.0
性別 × 年代	20代	23	82.6	8.7	8.7	0.0	0.0
	30代	54	88.9	5.6	3.7	1.9	0.0
	40代	69	92.8	4.3	2.9	0.0	0.0
	50代	54	87.0	9.3	1.9	1.9	0.0
	60代以上	43	90.7	7.0	2.3	0.0	0.0
	女性計	157	89.2	7.6	2.5	0.6	0.0
	20代	30	83.3	3.3	10.0	3.3	0.0
	30代	40	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	40代	44	88.6	9.1	2.3	0.0	0.0
	50代	29	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代以上	14	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0	

(2) 弘法の里湯を利用していない理由

弘法の里湯を利用していない人にその理由を問う設問では「興味はあるが、行く機会がなかった」が51.8%と最も高く半数を超え、次いで「弘法の里湯を知らなかった」(19.6%)、「入浴料金が高いと感じる」(16.5%)の順となっている。

□ Q2. リニューアル以降、弘法の里湯を利用されていない理由を教えてください。[MA]



性別では、大きな差は見られない。

年代別では、「弘法の里湯を知らなかった」が20代で43.2%と高く、また、高齢層ほど未認知の割合が低くなっている。「駐車場が狭い」では60代以上で20.0%と他の年代と比較すると高くなっている。

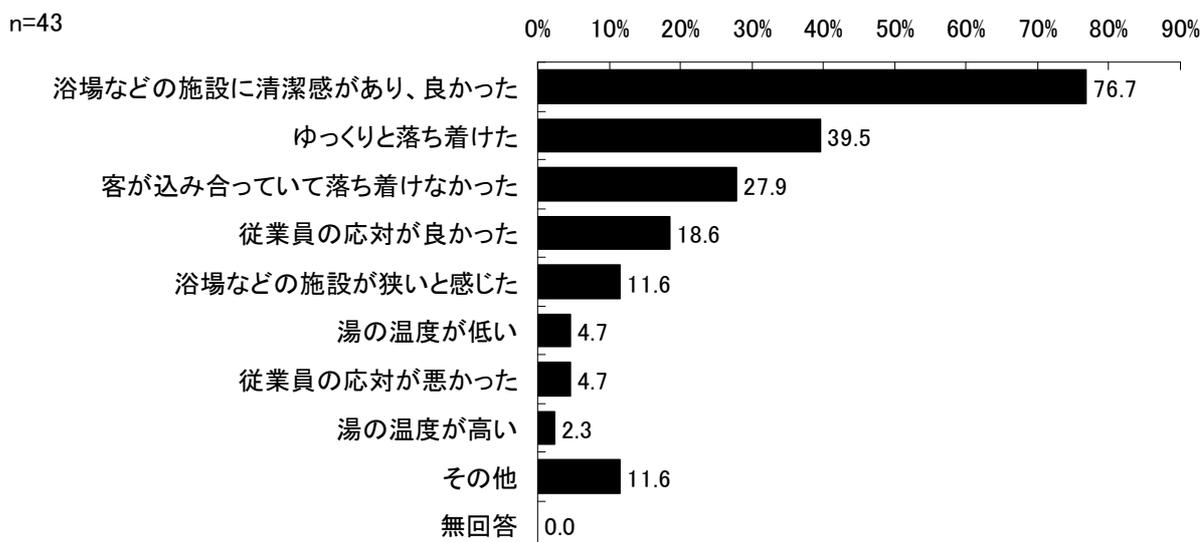
		弘法の里湯を利用していない理由(MA)									
		全体 (実数)	興味はあるが、行く機会がなかった	弘法の里湯を知らなかった	入浴料金が 高いと感じる	地元の温泉には魅力を感じない	近隣の民間の日帰り入浴施設を利用している	駐車料金が 高いと感じる	駐車場が 狭い	その他	無回答
全体 (%)		357	51.8	19.6	16.5	9.5	8.4	7.8	5.9	9.2	0.0
性別	男性	217	53.9	18.9	17.5	9.2	8.3	6.9	5.1	8.8	0.0
	女性	140	48.6	20.7	15.0	10.0	8.6	9.3	7.1	10.0	0.0
年代	20代	44	47.7	43.2	9.1	6.8	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0
	30代	84	38.1	25.0	21.4	9.5	9.5	2.4	1.2	10.7	0.0
	40代	103	51.5	18.4	17.5	10.7	8.7	8.7	4.9	6.8	0.0
	50代	76	60.5	11.8	15.8	10.5	6.6	10.5	3.9	7.9	0.0
	60代以上	50	66.0	4.0	14.0	8.0	12.0	14.0	20.0	18.0	0.0
性別 × 年代	男性計	217	53.9	18.9	17.5	9.2	8.3	6.9	5.1	8.8	0.0
	20代	19	57.9	36.8	10.5	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0
	30代	48	39.6	25.0	20.8	10.4	8.3	2.1	2.1	8.3	0.0
	40代	64	48.4	23.4	17.2	7.8	10.9	6.3	4.7	4.7	0.0
	50代	47	61.7	10.6	21.3	12.8	4.3	12.8	6.4	8.5	0.0
	60代以上	39	69.2	5.1	12.8	7.7	7.7	10.3	7.7	20.5	0.0
	女性計	140	48.6	20.7	15.0	10.0	8.6	9.3	7.1	10.0	0.0
	20代	25	40.0	48.0	8.0	8.0	0.0	8.0	4.0	8.0	0.0
	30代	36	36.1	25.0	22.2	8.3	11.1	2.8	0.0	13.9	0.0
	40代	39	56.4	10.3	17.9	15.4	5.1	12.8	5.1	10.3	0.0
50代	29	58.6	13.8	6.9	6.9	10.3	6.9	0.0	6.9	0.0	
60代以上	11	54.5	0.0	18.2	9.1	27.3	27.3	63.6	9.1	0.0	

(3) 弘法の里湯の利用後の感想

リニューアルオープン以後の弘法の里湯の利用経験者に利用後の感想を問う設問では、「浴場などの施設に清潔感があり、良かった」と回答した人が76.7%と最も高く7割以上であった。次いで、「ゆっくりと落ち着いた」と回答した人は39.5%であった。それに対し、「客が込み合っていて落ち着けなかった」は27.9%となっている。

「その他」の内容としては、「値段が高い」や「駐車場、休憩所が狭い」といった回答が目立った。

□ Q3. リニューアル以降、弘法の里湯を利用した感想はいかがでしたか。[MA]



性別では、「従業員の態度が良かった」で男性（30.8%）が高くなっている。

年代別では、傾向は見られなかった。（※サンプル数が少ないため、参考値とする）

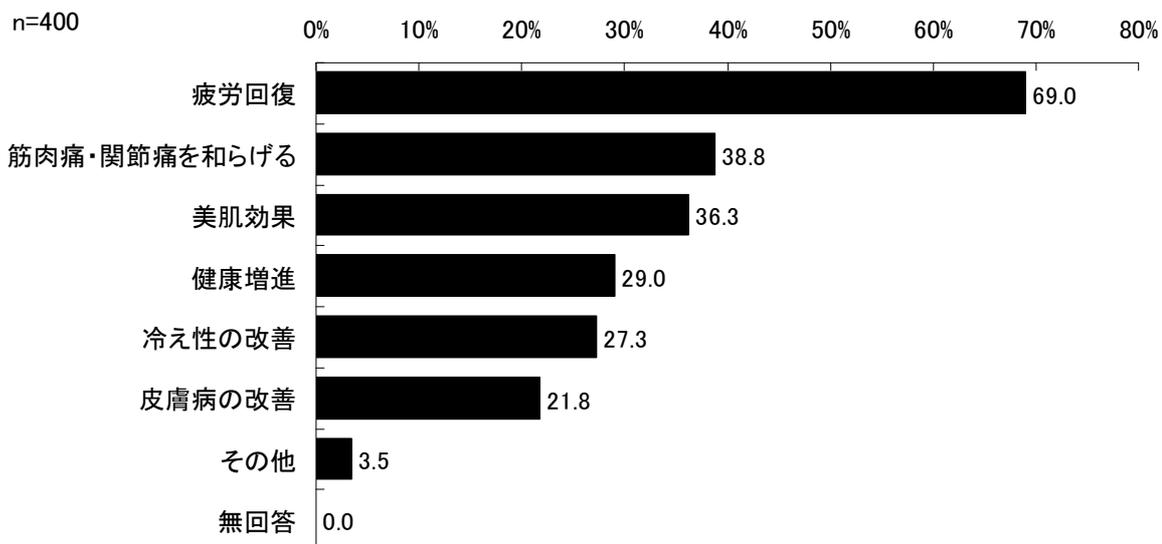
		弘法の里湯の利用後の感想(MA)											
		全体 (実数) (%)	浴場などの施設に清潔感があり、良かった	ゆっくりと落ち着いた	客が込み合っていて落ち着けなかった	従業員の対応が良かった	浴場などの施設が狭いと感じた	湯の温度が低い	従業員の対応が悪かった	湯の温度が高い	その他	無回答	
全体		43	76.7	39.5	27.9	18.6	11.6	4.7	4.7	2.3	11.6	0.0	
性別	男性	26	76.9	42.3	23.1	30.8	11.5	7.7	7.7	0.0	3.8	0.0	
	女性	17	76.5	35.3	35.3	0.0	11.8	0.0	0.0	5.9	23.5	0.0	
年代	20代	9	88.9	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	
	30代	10	90.0	60.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
	40代	10	50.0	20.0	40.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
	50代	7	71.4	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	
	60代以上	7	85.7	57.1	14.3	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	
	男性計	26	76.9	42.3	23.1	30.8	11.5	7.7	7.7	0.0	3.8	0.0	
性別×年代	男性計	20代	4	100.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30代	6	83.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
		40代	5	60.0	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50代	7	71.4	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
		60代以上	4	75.0	50.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性計	20代	5	80.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
		30代	4	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40代	5	40.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
		50代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60代以上	3	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

3 新源泉「つるまき千の湯」について

(1) 新源泉「つるまき千の湯」の魅力

新源泉「つるまき千の湯」の魅力を問う設問では、「疲労回復」と回答した人が69.0%と最も高く、次いで、「筋肉痛・関節痛を和らげる」(38.8%)、「美肌効果」(36.3%)となっている。

□ Q4. 弘法の里湯へも引き込んでいる新源泉「つるまき千の湯」は、箱根や湯河原の温泉に比べ、カルシウム含有量が多く、アルカリ性で、肌に浸透しやすい泉質で、次のような効果がありますが、特に魅力を感じるものを選んでください。[MA]



性別でみると、「美肌効果」では女性(66.2%)が男性(16.9%)より約50ポイント高く、「冷え性の改善」については女性(48.4%)が男性(13.6%)より30ポイント以上高くなっている。また、男性については「疲労回復」(73.7%)が高くなっている。

年代別でみると、「美肌効果」、「冷え性の改善」は、若年層ほど高くなっている。

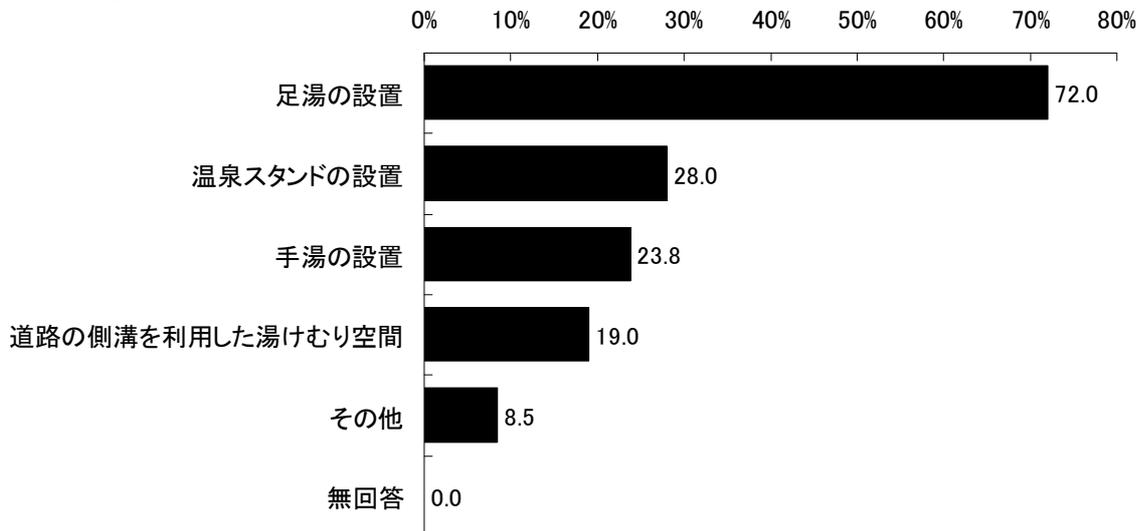
		新源泉「つるまき千の湯」の魅力(MA)								
		全体 (実数)	疲労回復	筋肉痛・関節痛を和らげる	美肌効果	健康増進	冷え性の改善	皮膚病の改善	その他	無回答
全体 (%)		400	69.0	38.8	36.3	29.0	27.3	21.8	3.5	0.0
性別	男性	243	73.7	39.1	16.9	27.6	13.6	19.8	3.7	0.0
	女性	157	61.8	38.2	66.2	31.2	48.4	24.8	3.2	0.0
年代	20代	53	71.7	50.9	56.6	39.6	47.2	24.5	5.7	0.0
	30代	94	72.3	29.8	48.9	33.0	33.0	26.6	1.1	0.0
	40代	113	68.1	30.1	29.2	18.6	26.5	18.6	3.5	0.0
	50代	83	73.5	41.0	28.9	32.5	18.1	20.5	3.6	0.0
	60代以上	57	56.1	56.1	21.1	28.1	14.0	19.3	5.3	0.0
性別×年代	男性計	243	73.7	39.1	16.9	27.6	13.6	19.8	3.7	0.0
	20代	23	82.6	52.2	26.1	39.1	34.8	21.7	4.3	0.0
	30代	54	79.6	29.6	24.1	31.5	14.8	22.2	1.9	0.0
	40代	69	78.3	33.3	13.0	18.8	13.0	15.9	2.9	0.0
	50代	54	72.2	38.9	13.0	27.8	11.1	20.4	5.6	0.0
	60代以上	43	55.8	53.5	14.0	30.2	4.7	20.9	4.7	0.0
	女性計	157	61.8	38.2	66.2	31.2	48.4	24.8	3.2	0.0
	20代	30	63.3	50.0	80.0	40.0	56.7	26.7	6.7	0.0
	30代	40	62.5	30.0	82.5	35.0	57.5	32.5	0.0	0.0
	40代	44	52.3	25.0	54.5	18.2	47.7	22.7	4.5	0.0
50代	29	75.9	44.8	58.6	41.4	31.0	20.7	0.0	0.0	
60代以上	14	57.1	64.3	42.9	21.4	42.9	14.3	7.1	0.0	

(2) 新源泉「つるまき千の湯」の活用方法

鶴巻温泉街活性化のための新源泉「つるまき千の湯」の活用方法をたずねたところ、「足湯の設置」(72.0%)が最も高く、全体の7割を超えている。次いで「温泉スタンドの設置」(28.0%)、「手湯の設置」(23.8%)の順となっている。

□ Q5. 新源泉「つるまき千の湯」を鶴巻温泉街活性化のため活用しようと考えていますが、次の中から魅力があると感じる施設等を選んでください。[MA]

n=400



性別では、「手湯の設置」で女性(32.5%)が男性(18.1%)より10ポイント以上高くなっている。年代別では、「道路の側溝を利用した湯けむり空間」が若年層ほど高くなっている。

		新源泉「つるまき千の湯」の活用方法(MA)						
		全体 (実数)	足湯の設置	温泉スタン ドの設置	手湯の設置	道路の側溝 を利用した 湯けむり空 間	その他	無回答
		(%)						
全体		400	72.0	28.0	23.8	19.0	8.5	0.0
性別	男性	243	73.3	26.7	18.1	20.2	8.6	0.0
	女性	157	70.1	29.9	32.5	17.2	8.3	0.0
年代	20代	53	60.4	26.4	32.1	26.4	13.2	0.0
	30代	94	71.3	36.2	25.5	20.2	5.3	0.0
	40代	113	70.8	24.8	20.4	20.4	6.2	0.0
	50代	83	80.7	30.1	24.1	14.5	6.0	0.0
	60代以上	57	73.7	19.3	19.3	14.0	17.5	0.0
	男性計	243	73.3	26.7	18.1	20.2	8.6	0.0
性別 × 年代	20代	23	73.9	34.8	21.7	34.8	4.3	0.0
	30代	54	68.5	38.9	16.7	18.5	5.6	0.0
	40代	69	68.1	18.8	14.5	21.7	7.2	0.0
	50代	54	83.3	29.6	20.4	16.7	7.4	0.0
	60代以上	43	74.4	16.3	20.9	16.3	18.6	0.0
	女性計	157	70.1	29.9	32.5	17.2	8.3	0.0
	20代	30	50.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	30代	40	75.0	32.5	37.5	22.5	5.0	0.0
	40代	44	75.0	34.1	29.5	18.2	4.5	0.0
	50代	29	75.9	31.0	31.0	10.3	3.4	0.0
60代以上	14	71.4	28.6	14.3	7.1	14.3	0.0	

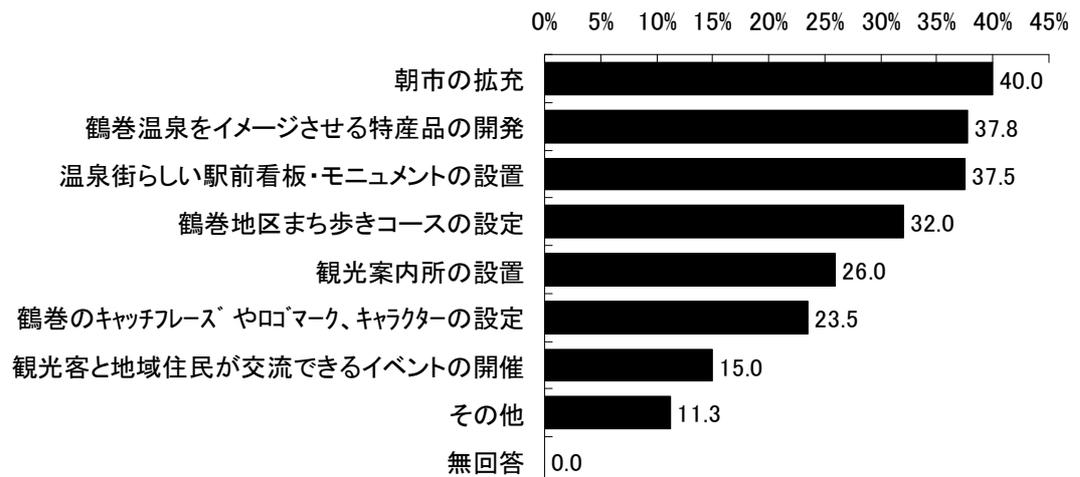
(3) 温泉地として魅力向上の取組み

温泉地としての魅力向上を図るため、効果的と思われるものについてたずねたところ、「朝市の拡充」(40.0%)が最も高く、次いで「鶴巻温泉をイメージさせる特産品の開発」(37.8%)、「温泉街らしい駅前看板・モニュメントの設置」(37.5%)、「鶴巻地区まち歩きコースの設定」(32.0%)の順となっている。

「その他」の内容としては、「交通・駐車場など行き易さの充実」や「駅周辺の改装・活性化」といったアクセスに関する要望や、「広告をもっとする」といった回答が目立った。

□ Q6. 新源泉「つるまき千の湯」を活用して、新たな温泉施設を整備するとともに、温泉地としての魅力向上を図るため、次のような取り組みが考えられますが、効果的と思うものを選んでください。[MA]

n=400



性別では、大きな差は見られない。

年代別では、「鶴巻温泉をイメージさせる特産品の開発」で20代(45.3%)、30代(44.7%)が高くなっている。「鶴巻地区まち歩きコースの設定」で50代(39.8%)、60代(36.8%)が高くなっている。また、「朝市の拡充」は高齢層ほど高くなっている。

		源泉地としての魅力向上の取組み(MA)										
		全体 (実数)	朝市の拡 充	鶴巻温泉 をイメージ させる特 産品の開 発	温泉街らし い駅前看 板・モニュ メントの設 置	鶴巻地区 まち歩き コースの設 定	観光案内 所の設置	鶴巻の キャッチフ レーズやロ ゴマーク、 キャラク ターの設 定	観光客と 地域住民 が交流で きるイベ ントの開催	その他	無回答	
		(%)										
全体		400	40.0	37.8	37.5	32.0	26.0	23.5	15.0	11.3	0.0	
性別	男性	243	37.0	36.6	36.6	32.1	25.1	24.3	14.4	11.1	0.0	
	女性	157	44.6	39.5	38.9	31.8	27.4	22.3	15.9	11.5	0.0	
年代	20代	53	35.8	45.3	45.3	30.2	35.8	18.9	15.1	7.5	0.0	
	30代	94	36.2	44.7	42.6	30.9	28.7	36.2	18.1	11.7	0.0	
	40代	113	40.7	33.6	32.7	25.7	18.6	16.8	8.8	11.5	0.0	
	50代	83	43.4	30.1	41.0	39.8	27.7	18.1	20.5	8.4	0.0	
	60代以上	57	43.9	38.6	26.3	36.8	24.6	28.1	14.0	17.5	0.0	
性別 × 年代	男性計	243	37.0	36.6	36.6	32.1	25.1	24.3	14.4	11.1	0.0	
	20代	20代	23	43.5	56.5	43.5	34.8	30.4	17.4	17.4	4.3	0.0
		30代	54	25.9	44.4	42.6	31.5	29.6	38.9	14.8	11.1	0.0
		40代	69	34.8	33.3	36.2	23.2	20.3	18.8	11.6	7.2	0.0
		50代	54	44.4	24.1	38.9	37.0	22.2	18.5	20.4	13.0	0.0
		60代以上	43	41.9	37.2	23.3	39.5	27.9	25.6	9.3	18.6	0.0
	女性計	20代	30	30.0	36.7	46.7	26.7	40.0	20.0	13.3	10.0	0.0
		30代	40	50.0	45.0	42.5	30.0	27.5	32.5	22.5	12.5	0.0
		40代	44	50.0	34.1	27.3	29.5	15.9	13.6	4.5	18.2	0.0
		50代	29	41.4	41.4	44.8	44.8	37.9	17.2	20.7	0.0	0.0
60代以上		14	50.0	42.9	35.7	28.6	14.3	35.7	28.6	14.3	0.0	

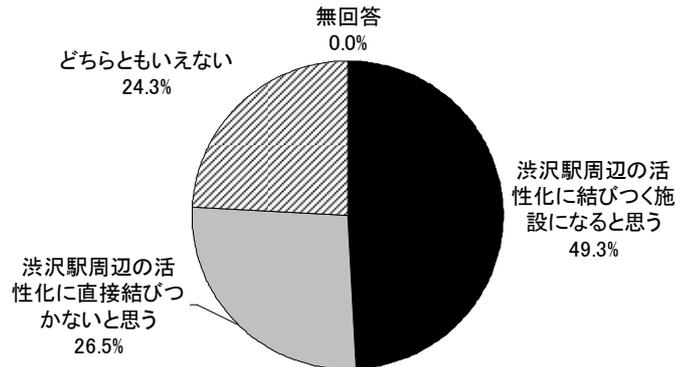
4 渋沢での新源泉活用について

(1) 渋沢駅周辺の新源泉の活用について

渋沢駅周辺に日帰り入浴施設を新設することについてたずねたところ、「渋沢駅周辺の活性化に結びつく施設になると思う」(49.3%)が最も高く全体の約半数で、次いで「渋沢駅周辺の活性化に直接結びつかないと思う」(26.5%)、「どちらともいえない」(24.3%)の順となっている。

□ Q7. 新源泉「つるまき千の湯」を市民共有の財産として、丹沢の登山口である渋沢駅周辺の活性化を図るため、日帰り入浴施設を新設し、新源泉を活用できないかとの意見がありますが、どのように思いますか。[SA]

n=400



性・年代別では、大きな傾向は見られない。

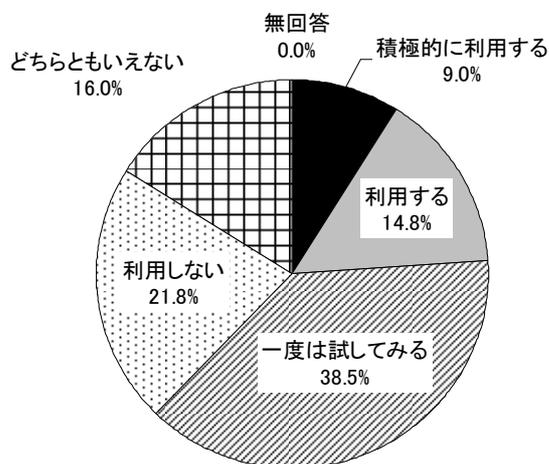
		渋沢駅周辺の新源泉の活用について				
		全体 (実数)	渋沢駅周辺 の活性化に 結びつく施設 になると思う	渋沢駅周辺 の活性化に 直接結びつか ないと思う	どちらともい えない	無回答
全体 (%)		400	49.3	26.5	24.3	0.0
性別	男性	243	51.0	25.9	23.0	0.0
	女性	157	46.5	27.4	26.1	0.0
年代	20代	53	45.3	24.5	30.2	0.0
	30代	94	54.3	27.7	18.1	0.0
	40代	113	44.2	28.3	27.4	0.0
	50代	83	49.4	24.1	26.5	0.0
	60代以上	57	54.4	26.3	19.3	0.0
	男性計	243	51.0	25.9	23.0	0.0
性別 × 年代	20代	23	39.1	13.0	47.8	0.0
	30代	54	55.6	27.8	16.7	0.0
	40代	69	47.8	34.8	17.4	0.0
	50代	54	51.9	18.5	29.6	0.0
	60代以上	43	55.8	25.6	18.6	0.0
	女性計	157	46.5	27.4	26.1	0.0
	20代	30	50.0	33.3	16.7	0.0
	30代	40	52.5	27.5	20.0	0.0
	40代	44	38.6	18.2	43.2	0.0
	50代	29	44.8	34.5	20.7	0.0
60代以上	14	50.0	28.6	21.4	0.0	

(2) 渋沢駅周辺の日帰り温泉施設の利用意向

渋沢駅周辺に日帰り温泉施設を設置した場合の利用意向については、「一度は試してみる」が38.5%で最も高く、次いで「利用しない」(21.8%)、「どちらとも言えない」(16.0%)の順となっている。

□ Q8. 渋沢駅周辺に新源泉を活用した日帰り入浴施設が設置された場合、あなたは利用しますか。[SA]

n=400



性別では、大きな差は見られない。

年代別に見ると、「積極的に利用する～一度は試してみる」(利用意向あり)は20代、30代で高く、40代以上では低い傾向にある。

		渋沢駅周辺の日帰り温泉施設の利用意向							
		(%)	全体 (実数)	積極的に 利用する	利用する	一度は試 してみる	利用しな い	どちらとも いえない	無回答
全体			400	9.0	14.8	38.5	21.8	16.0	0.0
性別	男性		243	8.6	16.9	36.2	23.9	14.4	0.0
	女性		157	9.6	11.5	42.0	18.5	18.5	0.0
年代	20代		53	18.9	5.7	45.3	18.9	11.3	0.0
	30代		94	9.6	10.6	45.7	17.0	17.0	0.0
	40代		113	6.2	15.9	38.1	20.4	19.5	0.0
	50代		83	7.2	14.5	36.1	30.1	12.0	0.0
	60代以上		57	7.0	28.1	24.6	22.8	17.5	0.0
性別 × 年代	男性計		243	8.6	16.9	36.2	23.9	14.4	0.0
	20代		23	21.7	8.7	39.1	21.7	8.7	0.0
	30代		54	11.1	7.4	50.0	14.8	16.7	0.0
	40代		69	7.2	17.4	37.7	18.8	18.8	0.0
	50代		54	3.7	18.5	31.5	35.2	11.1	0.0
	60代以上		43	7.0	30.2	20.9	30.2	11.6	0.0
	女性計		157	9.6	11.5	42.0	18.5	18.5	0.0
	20代		30	16.7	3.3	50.0	16.7	13.3	0.0
	30代		40	7.5	15.0	40.0	20.0	17.5	0.0
	40代		44	4.5	13.6	38.6	22.7	20.5	0.0
50代		29	13.8	6.9	44.8	20.7	13.8	0.0	
60代以上		14	7.1	21.4	35.7	0.0	35.7	0.0	

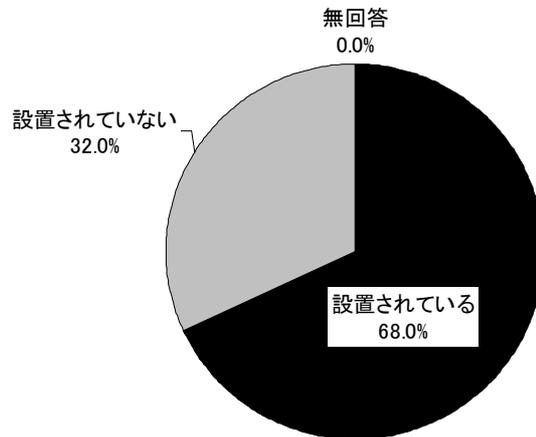
5 住宅用火災警報器について

(1) 住宅用火災警報器設置状況

住宅用火災警報器の設置状況については、「設置されている」が68.0%と7割近くになっている。

- Q9. すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられて、1年が経過しましたが、あなたの家には、住宅用火災警報器(または自動火災報知設備)が設置されていますか。[SA]

n=400



性別では、大きな差は見られない。

年代別でみると、「設置されている」20代(79.2%)、30代(71.3%)で高くなっている。また、高齢層ほど「設置されていない」が高くなる傾向にある。

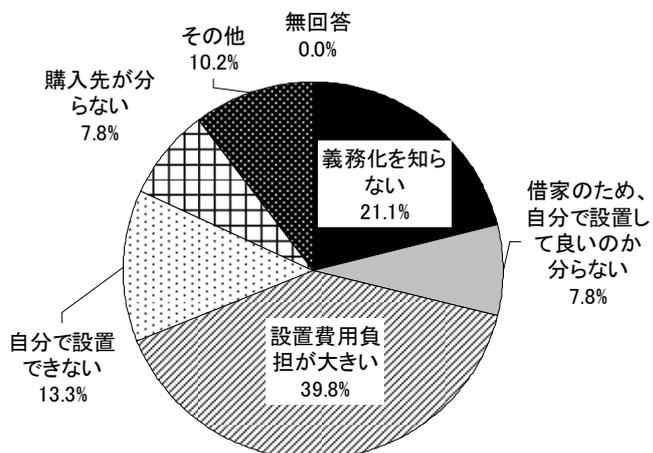
		住宅用火災警報器設置状況				
		(%)	全体 (実数)	設置され ている	設置され ていない	無回答
全体			400	68.0	32.0	0.0
性別	男性		243	67.1	32.9	0.0
	女性		157	69.4	30.6	0.0
年代	20代		53	79.2	20.8	0.0
	30代		94	71.3	28.7	0.0
	40代		113	63.7	36.3	0.0
	50代		83	63.9	36.1	0.0
	60代以上		57	66.7	33.3	0.0
	男性計		243	67.1	32.9	0.0
性別 × 年代	20代		23	65.2	34.8	0.0
	30代		54	66.7	33.3	0.0
	40代		69	65.2	34.8	0.0
	50代		54	66.7	33.3	0.0
	60代以上		43	72.1	27.9	0.0
	女性計		157	69.4	30.6	0.0
	20代		30	90.0	10.0	0.0
	30代		40	77.5	22.5	0.0
	40代		44	61.4	38.6	0.0
	50代		29	58.6	41.4	0.0
60代以上		14	50.0	50.0	0.0	

(2) 住宅用火災警報器を設置していない理由

住宅用火災警報器を設置していない人に対し設置していない理由をたずねたところ、「設置費用負担が大きい」が39.8%と最も高く、次いで「義務化を知らない」(21.1%)、「自分で設置できない」(13.3%)の順となっている。

□ Q10. 住宅用火災警報器(または自動火災報知設備)を設置していない理由は何ですか。[SA]

n=128



性別では、「自分で設置できない」が女性で20.8%とやや高く、「設置費用負担が大きい」が男性で43.8%と高くなっている。

年代別では、傾向は見られなかった。

		住宅用火災警報器を設置していない理由							
		全体 (実数)	義務化を 知らない	借家のた め、自分で 設置して 良いのか 分からない	設置費用 負担が大 きい	自分で設 置できな い	購入先が 分からない	その他	無回答
全体		128	21.1	7.8	39.8	13.3	7.8	10.2	0.0
性別	男性	80	21.3	7.5	43.8	8.8	8.8	10.0	0.0
	女性	48	20.8	8.3	33.3	20.8	6.3	10.4	0.0
年代	20代	11	27.3	9.1	18.2	9.1	9.1	27.3	0.0
	30代	27	14.8	7.4	48.1	14.8	11.1	3.7	0.0
	40代	41	24.4	9.8	41.5	9.8	4.9	9.8	0.0
	50代	30	20.0	3.3	43.3	20.0	6.7	6.7	0.0
	60代以上	19	21.1	10.5	31.6	10.5	10.5	15.8	0.0
性別 × 年代	男性計	80	21.3	7.5	43.8	8.8	8.8	10.0	0.0
	20代	8	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0
	30代	18	16.7	0.0	55.6	16.7	11.1	0.0	0.0
	40代	24	29.2	12.5	45.8	4.2	4.2	4.2	0.0
	50代	18	16.7	5.6	55.6	5.6	5.6	11.1	0.0
	60代以上	12	16.7	8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	0.0
	女性計	48	20.8	8.3	33.3	20.8	6.3	10.4	0.0
	20代	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	30代	9	11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0
	40代	17	17.6	5.9	35.3	17.6	5.9	17.6	0.0
50代	12	25.0	0.0	25.0	41.7	8.3	0.0	0.0	
60代以上	7	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	